第4回府中市子ども・子育て会議報告書

- 1 日 時：令和6年12月25日（木）14：30～16：15
- 2 場 所：府中市役所2階 第一応接室
- 3 出席者：吉原 純（会長） 金子 努（副会長）
廣瀬 和彦（委員） 板橋 千代美（委員）
宗藤 正典（委員）
※田中いづみ委員・河村昌子委員は欠席
※株式会社名豊（計画策定業務委託事業者）より1名同席

4 概 要

- (1) 開会
- (2) 議事
 - ① 第1期府中市こども計画（仮称）について
 - ・第1期府中市こども計画（仮称）（素案）（資料1）
 - ・施策体系（事業）一覧（資料2）
- (3) 報告
 - ① 放課後児童クラブの運営について（資料4）
- (4) その他
今後の会議スケジュールについて（資料3）
- (5) 閉会

以下、主な質疑及び意見等（※会長、副会長の発言についても委員として表記）

【議事①】 第1期府中市こども計画（仮称）について

委 員 卷末に用語解説をつけると市民の方によりわかりやすくよいのではないか。

委 員 基本理念にあるウェルビーイングはよく聞く言葉で概念的にはなんとなくわかるが幸せな状態というのがよくわからない。府中市におけるウェルビーイングの定義付けがある方がよい。

委 員 会社で事業計画書をつくる時には理念がはじめに来る。順番を変えることはできるのか。

事務局 今まではこういう形で作ってきたこともありそれを踏襲している。概要版では最初から方向性などを示すような形になる。

- 委員 市民の皆さんに事業を活用していただくためのアピールはとても大切なこと。知っていただくためには工夫が必要。
- 事務局 構成については事務局で検討させていただく。
- 委員 人口が減っていく中で、人口を増やすのではなく現在の市民のウェルビーイングを目指すということなのか。それとも人口を増やしていくのか。
- 事務局 人口減少に対しこのままでいいというわけでは当然ない。当計画は子ども・子育て支援事業計画も包含しており、こどもの数に対して地域の子育て支援策の量の見込みを出していくこともあり、人口の推移は市全体での施策を考える上で必要になってくるため、最初に推計を掲載する流れになっている。人口を増やすことも目的にはしているが、子育てをしている方、これから子育てをする方の満足度を上げていくということもある。どちらかということではなく、どちらも目指している。
- 委員 ウェルビーイングを府中市としてどう本質的に捉えるか、重点施策をクリアできればみんなが5年前より幸せになっているという道筋をみんながイメージできるかどうかではないか。3章の基本理念の中にウェルビーイングが出てくるが、上位概念があればいいのではないか。
- 事務局 目指す姿ということではいいか。
- 委員 そういうことでよい。
- 委員 何かを伝えていくのであれば本当にわかりやすい言葉で府中市が住みやすいまちであることが伝わる必要がある。
- 委員 この計画はどのように活用されるのか。
- 事務局 各事業を計画立てて推進していくためのもととなるものであり、各事業を実施するにあたり国や県から補助金をもらうため必要な計画となる。
- 委員 内容が適切かどうか委員には知っていただきたい。また府中市独自のことがどれだけ組み込まれているか、またこの内容をどのようにわかりやすく市民に具体的に伝えるのかということとは最重要事項であると思う。

10分間休憩

事務局 構成をどうするかについて休憩中に事務局内で話をしたが、前期計画の振り返りがあって次期計画ができたという流れとなる。また一方で委員のみなさんがおっしゃるように本編がどこから始まるのか分かりにくいということもある。構成については会長、副会長、事務局で相談させていただいてよいか。

委員 誰が読んで誰が利用されるのかということも考慮が必要。

事務局 概要版をまだお示しできていないが、概要版でみなさんにはお知らせをさせていただくことも検討する。また先ほど委員から、ホームページに掲載するのであれば、本編と概要版に加えてわかりやすいポンチ絵のようなものも併せて掲載してはどうかとのご意見をいただいたので、株式会社名豊とも相談しながら考えさせていただくということではいかか。

委員 承知した。

委員 株式会社名豊に伺いたいですが、府中市の特徴はなにか。

事務局（名豊） 他の自治体にはない施策も実施しており、施策は充実していると思う。

委員 調査結果について他市町との比較・分析をしていただいてまた教えてほしい。

委員 構成についてはまた確認をする。パブリックコメントもあり多少の変更はあるということだが、委員のみなさまにおかれましてはこの素案に対して異議なく承認をいただくことでよいか。

各委員 異議なし。

【報告①】放課後児童クラブの運営について

委員 現在開設していない振替休校への対応ということで、共働き世帯が多くなっている状況においてありがたいことだと思う。それ以外にもサービスを充実させていくことはいいことだと思う。金銭の面については、物価や人件費の高騰があるので個人の意見としては妥当であると思う。

委員 サービスの向上については、保護者の意見が反映されたものか。

事務局 今後アンケート等の実施を検討している。現在は委託事業者から提案をいただいた内容ではある。

委員 企業側の都合もあると思うが、保護者のニーズがかみ合っていないと効果が得られないと思う。

事務局 昼食については以前から要望があり数年前に試行したことがある。課題もあったがそこもクリアしながらやっていきたいと考えている。他にも様々なご希望はあるが、できること、できないことがあるので、できることからニーズを考慮しつつやっていく。

委員 サービスとしてだけでなく、こどもの豊かな育ちの時間になることが大切。

※全議事了承